

2019年12月の
国内向け／輸出向け出荷の動向
図表集

2020年2月7日

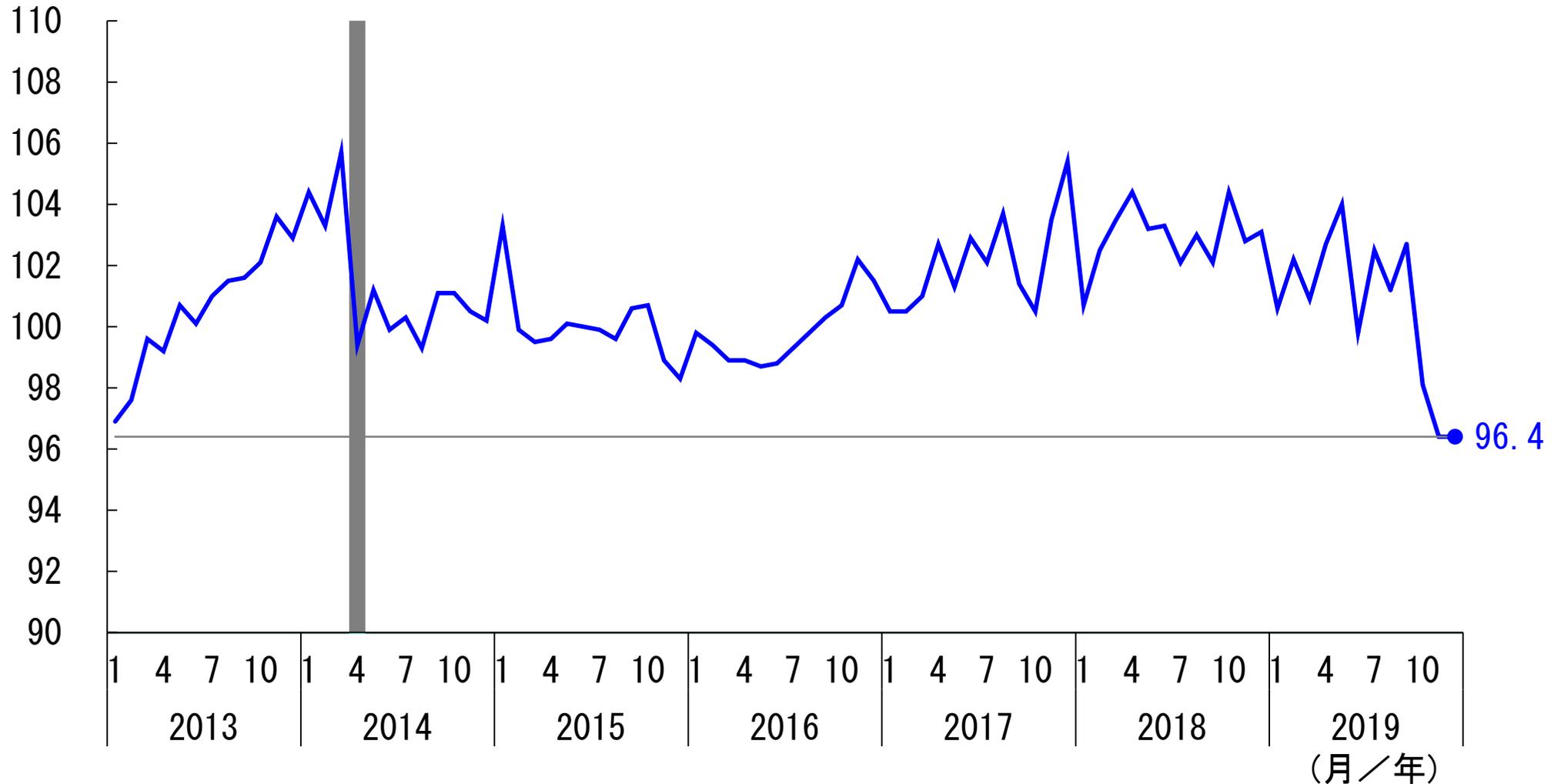
経済解析室

URL : <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/utiwake/result-1.html>

鉍工業出荷指数の動向

・ 2019年12月の鉍工業出荷指数は96.4 (前月比0.0%) と横ばい。

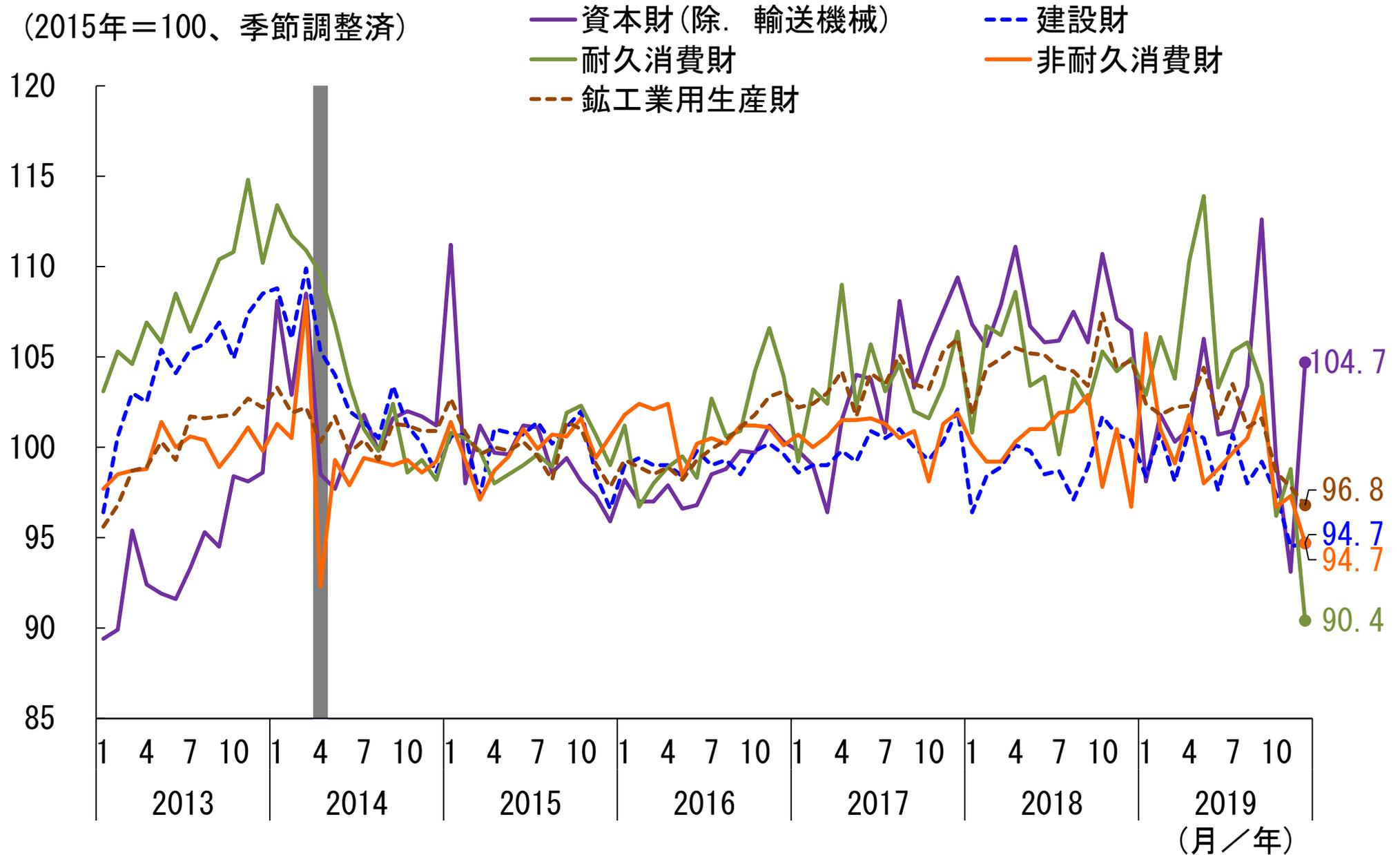
(2015年=100、季節調整済)



(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

財別出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済)



(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

2019年12月の鉱工業出荷内訳表の状況

出荷・国内向け出荷・輸出向け出荷

月次	出 荷	輸 出	国 内
季調済指数 前月比	96.4 0.0%	96.1 -0.4%	96.9 0.4%
指数水準	2015年基準最低水準 (2019.11 96.4以来) —	2016.5 95.8以来 ①2013.2 90.9 ②2013.1 92.7 ③2014.1 93.6	2019.9 103.1以来 I 2014.3 107.8 II 2014.1 106.9 III 2013.12, 2017.12 104.8
前月比の動き	—	2か月連続— (2019.11～当月)	2か月連続+ (2019.11～当月)
前月比幅	—	2019.11 -6.3%以来 ①2015.2 -8.7% ②2017.1 -8.1% ③2019.1 -7.4%	2019.9 2.9%以来 I 2014.3 3.6% II 2019.4 3.5% III 2017.4 3.4%

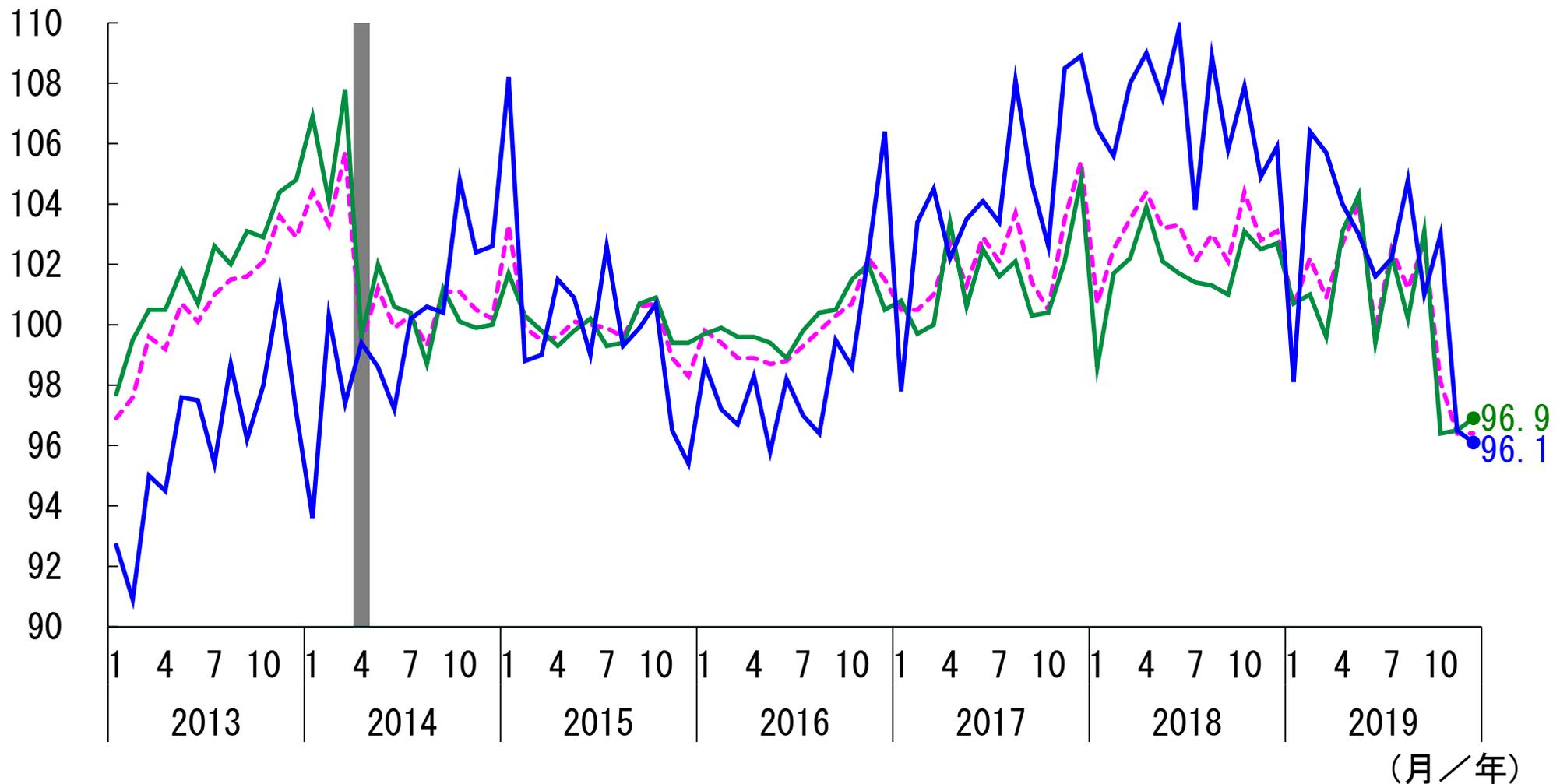
1) I～Ⅲは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

国内向け／輸出向け出荷の動向

・2019年12月の鋳工業出荷を国内向け／輸出向け別にみると、国内向けは96.9(前月比0.4%)と2か月連続の上昇、輸出向けは96.1(前月比-0.4%)と2か月連続の低下。

(2015年=100、季節調整済)

--- 鋳工業出荷 — 国内向け — 輸出向け

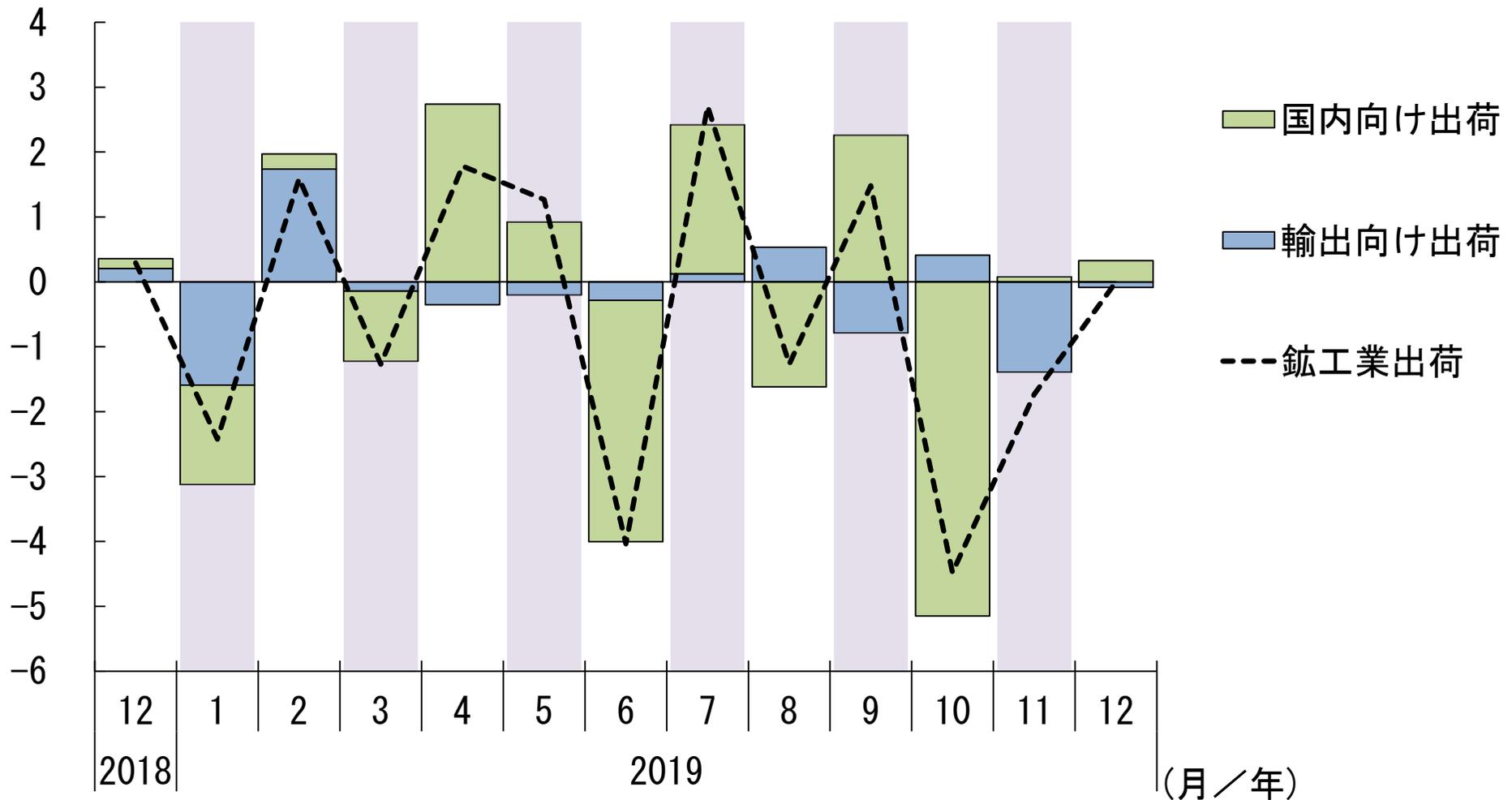


(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

鉍工業出荷前月比 国内向け／輸出向け別の影響度合い

・2019年12月の鉍工業出荷は輸出向けは低下したものの、国内向けは上昇したため、前月比0.0%の横ばい。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

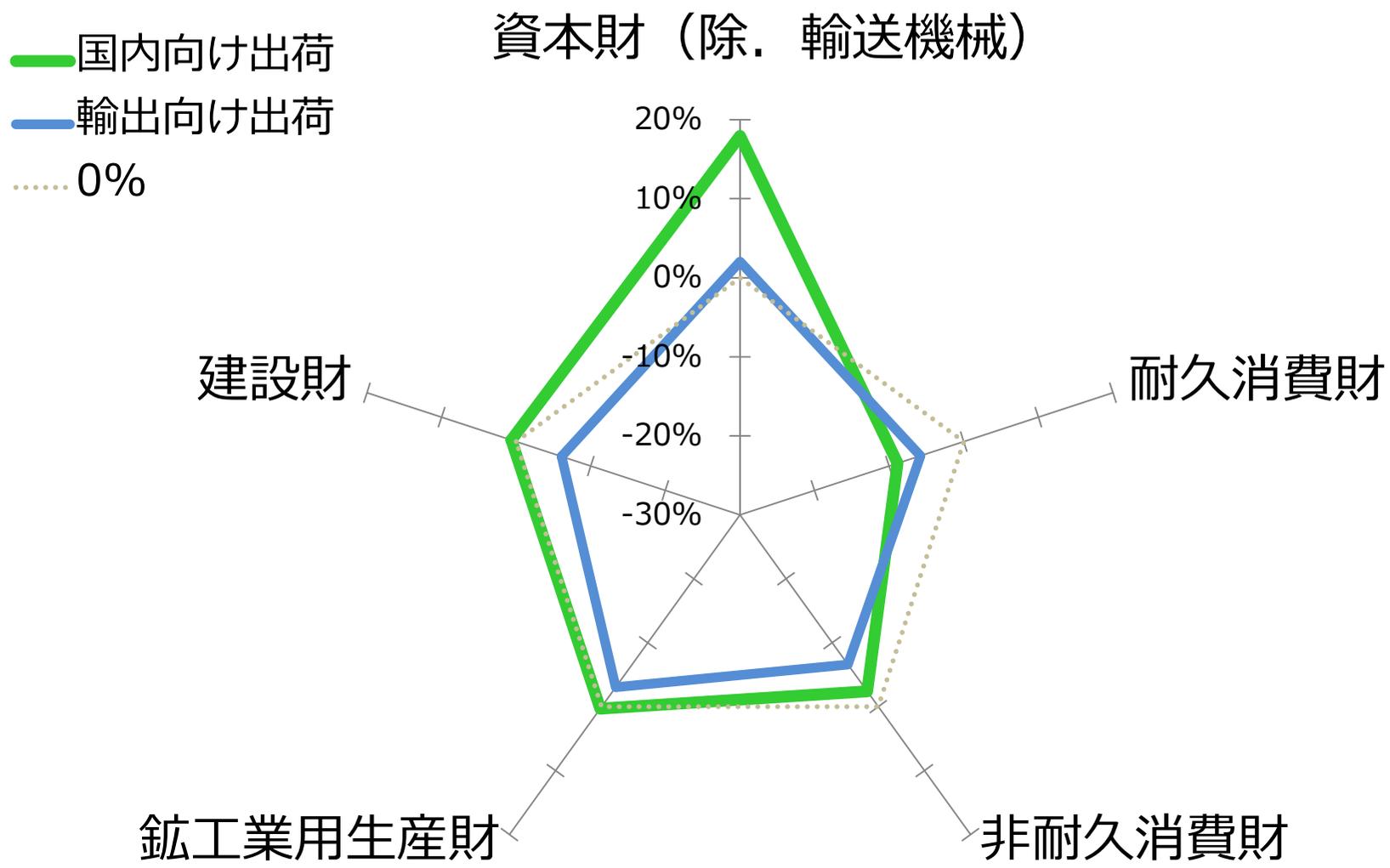


主要業種、財の出荷前月比 国内／輸出向け出荷の影響度合い

業種別分類	出荷前月比 (%)	国内寄与度 (%ポイント)	輸出寄与度 (%ポイント)
鉄鋼・非鉄金属工業	-0.3	1.50	-1.71
生産用機械工業	16.8	12.56	2.05
汎用・業務用機械工業	4.3	4.50	0.26
電気・情報通信機械工業	0.3	2.10	-1.48
輸送機械工業	-5.5	-5.11	-0.35
化学工業(除. 医薬品)	0.5	0.65	-0.12

財別分類	出荷前月比 (%)	国内寄与度 (%ポイント)	輸出寄与度 (%ポイント)
鉱工業用生産財	-1.0	0.23	-0.75
資本財(除. 輸送機械)	12.5	11.43	0.75
建設財	0.2	0.59	-0.41
耐久消費財	-8.5	-6.73	-1.39
非耐久消費財	-2.7	-2.30	-0.29

国内向け／輸出向け財別出荷指数前月比比較(2019年12月)

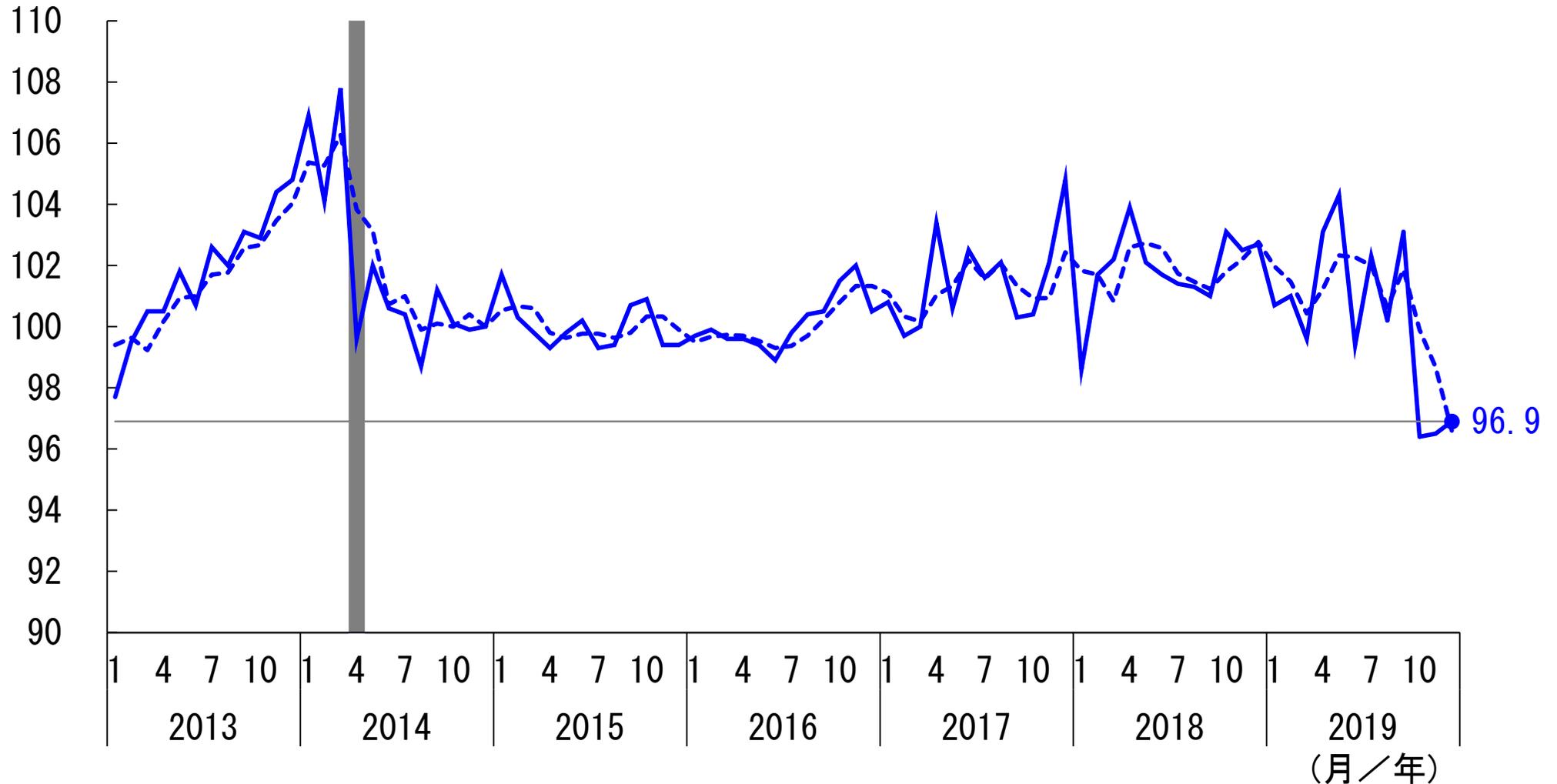


国内向け出荷指数の動向

・ 2019年12月の国内向け出荷指数は96.9(前月比0.4%)と2か月連続の上昇。

(2015年=100、季節調整済)

— 国内向け出荷指数 - - - 3か月後方移動平均

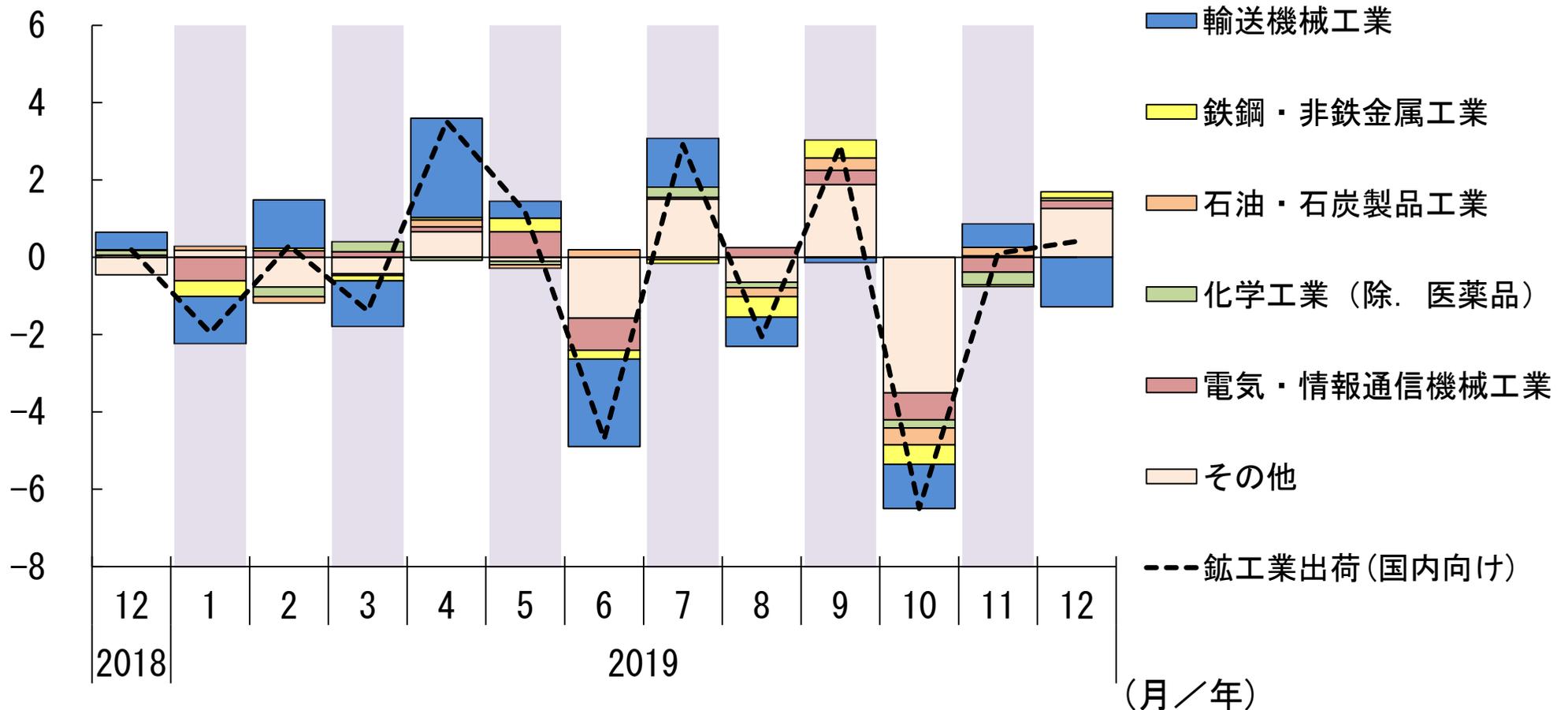


(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

国内向け出荷前月比 業種別の影響度合い

- 2019年12月の国内向け出荷を主要業種別にみると、輸送機械工業が低下したものの、電気・情報通信機械工業などが上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



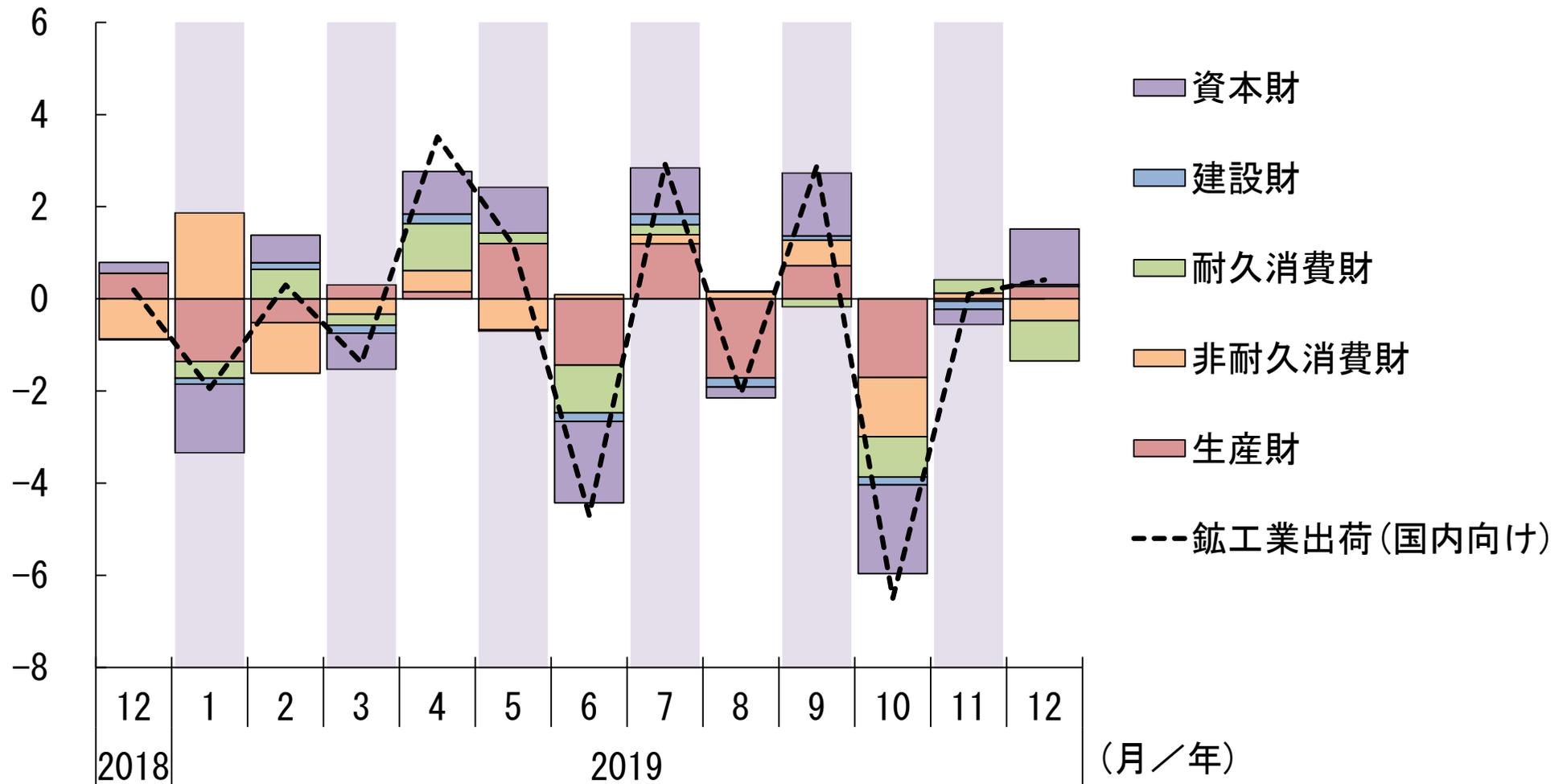
(注)主要業種とは、国内向け出荷(ウエイト7896.12)のうち、ウエイトが大きい5業種を選定。

具体的には、輸送機械工業(国内向け、ウエイト1193.18)、鉄鋼・非鉄金属工業(同、同786.21)、石油・石炭製品工業(同、同664.82)、化学工業(除. 医薬品)(同、同629.02)、電気・情報通信機械工業(同、同607.02)。

国内向け出荷前月比 財別の影響度合い

- 2019年12月の国内向け出荷を財別にみると、耐久消費財などが低下したものの、資本財などが上昇。

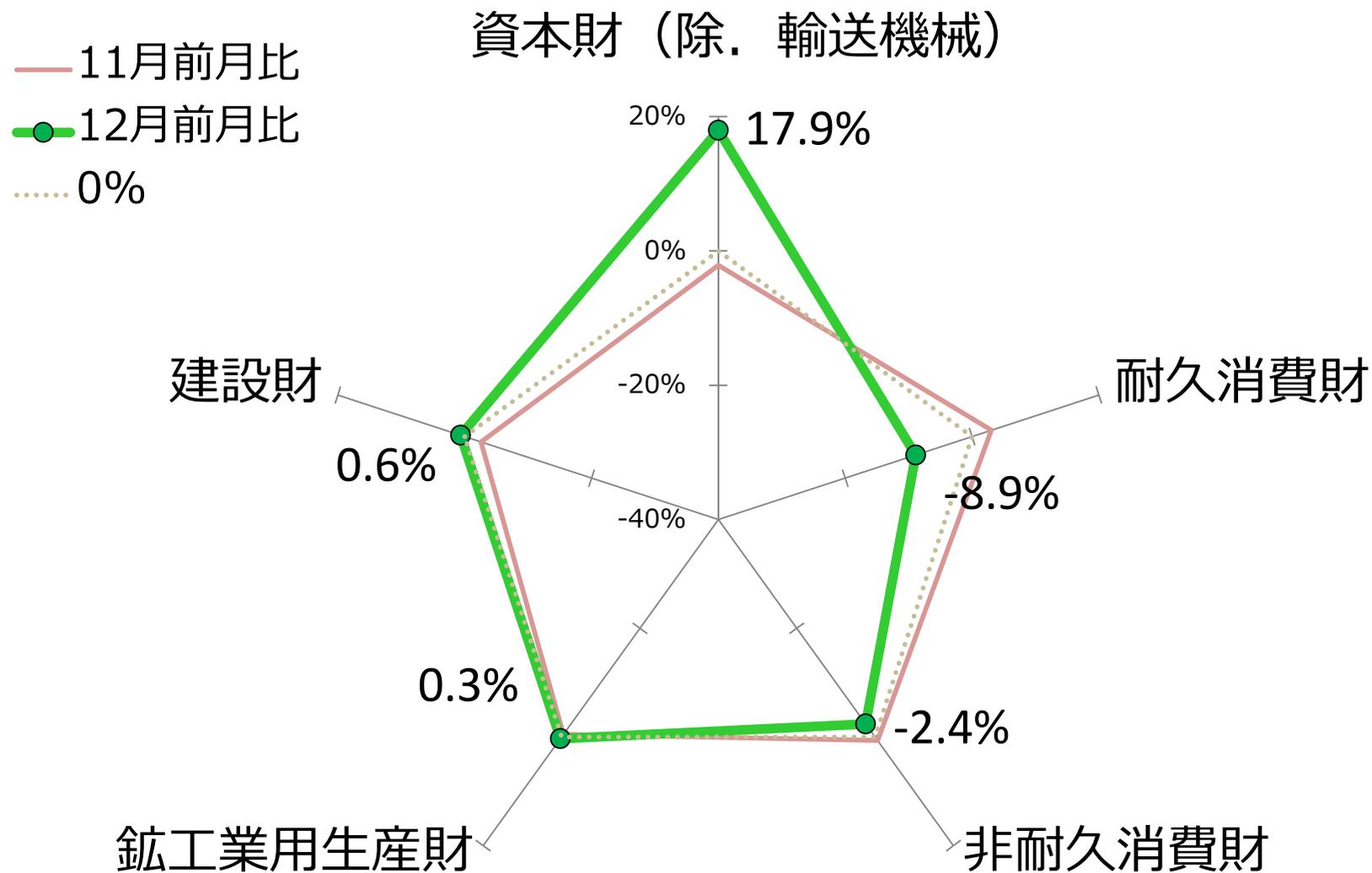
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



2019年12月の国内向け出荷前月比 財別の影響度合い

財別分類	前月比(%)	寄与度
鉱工業	0.4	—
資本財(除. 輸送機械)	17.9	1.61
鉱工業用生産財	0.3	0.13
建設財	0.6	0.04
その他用生産財	0.3	0.03
非耐久消費財	-2.4	-0.47
耐久消費財	-8.9	-0.88

国内向け財別出荷指数前月比の比較 (2019年11月、12月)

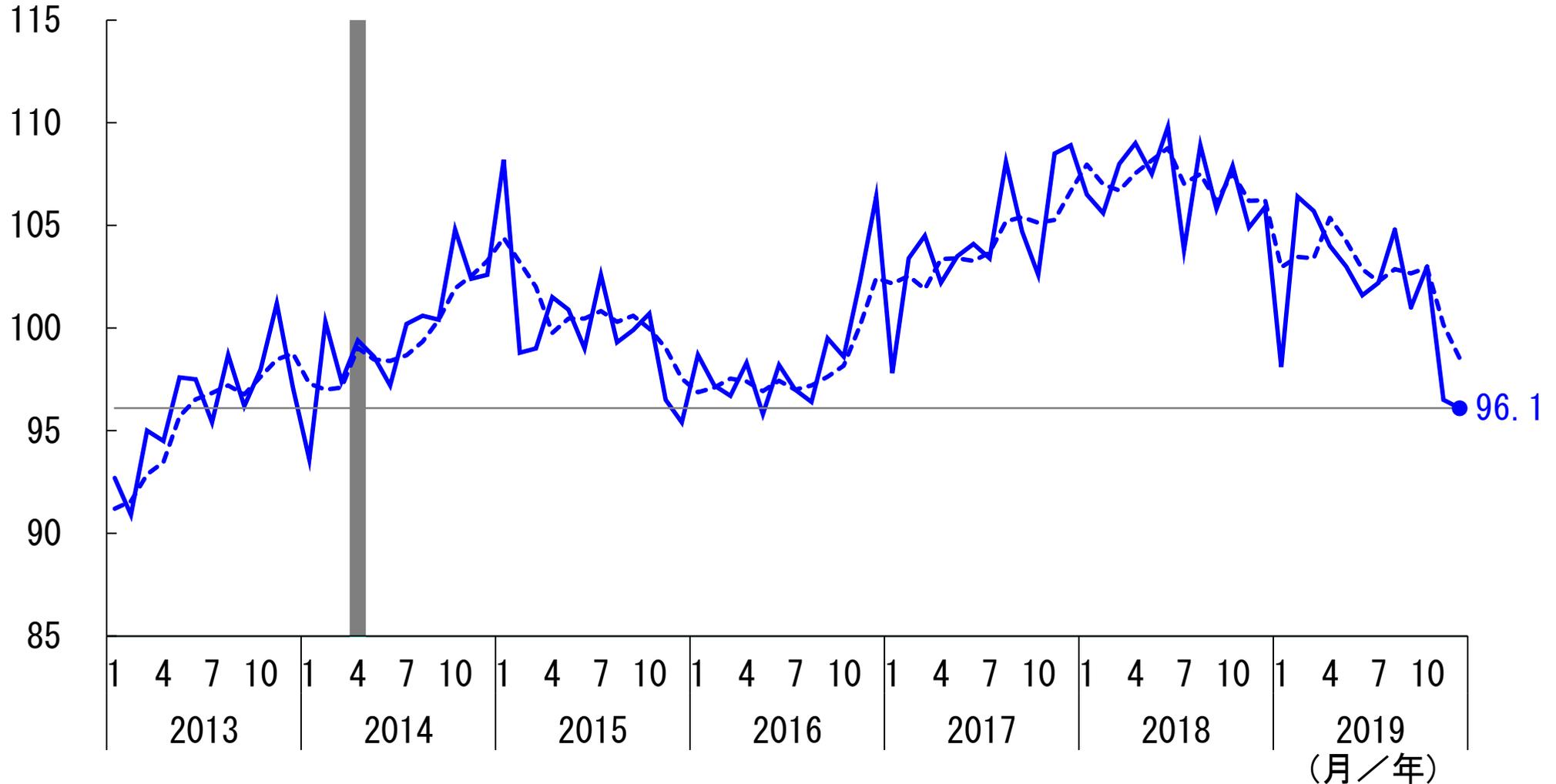


輸出向け出荷指数の動向

・ 2019年12月の輸出向け出荷指数は96.1 (前月比-0.4%) と2か月連続の低下。

(2015年=100、季節調整済)

— 輸出向け出荷指数 - - - 3か月後方移動平均

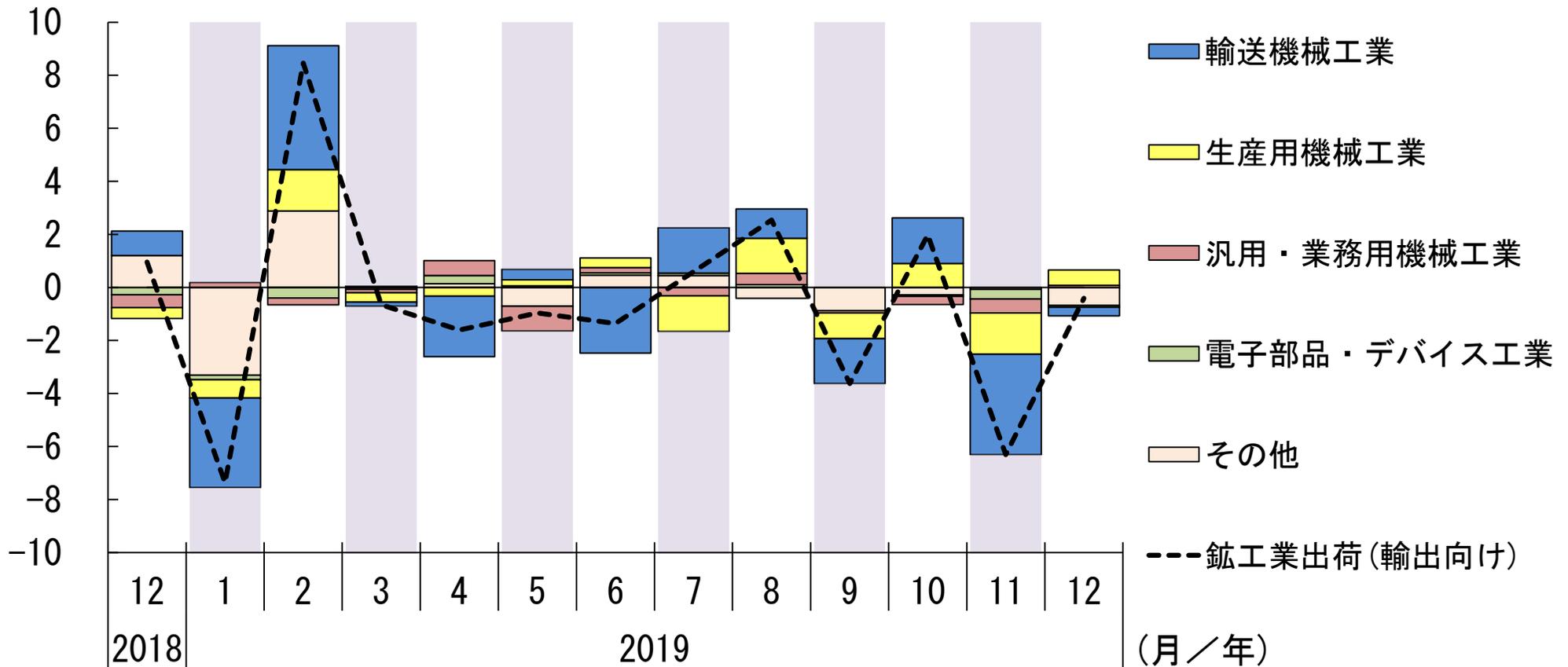


(注) 灰色のシャドー部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

輸出向け出荷前月比 業種別の影響度合い

- 2019年12月の輸出向け出荷を主要業種別にみると、生産用機械工業などが上昇したものの、輸送機械工業などが低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

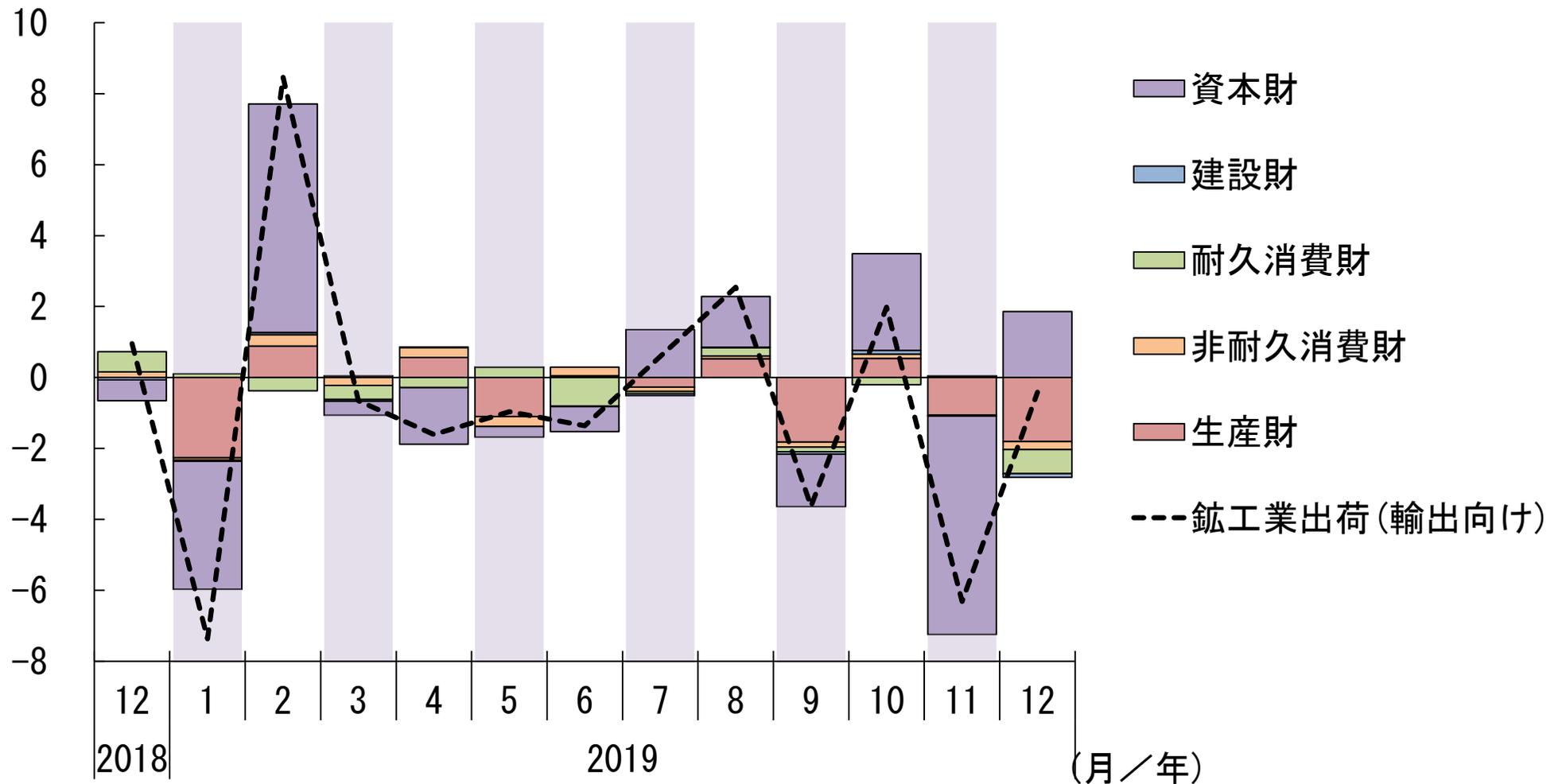


(注)主要業種とは、輸出向け出荷(ウエイト2103.88)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。
 具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト678.22)、生産用機械工業(同、同270.38)、汎用・業務用機械工業(同、同218.87)、電子部品・デバイス工業(同、同186.86)の4業種。

輸出向け出荷前月比 財別の影響度合い

- 2019年12月の輸出向け出荷を財別にみると、資本財が上昇したものの、生産財などが低下。

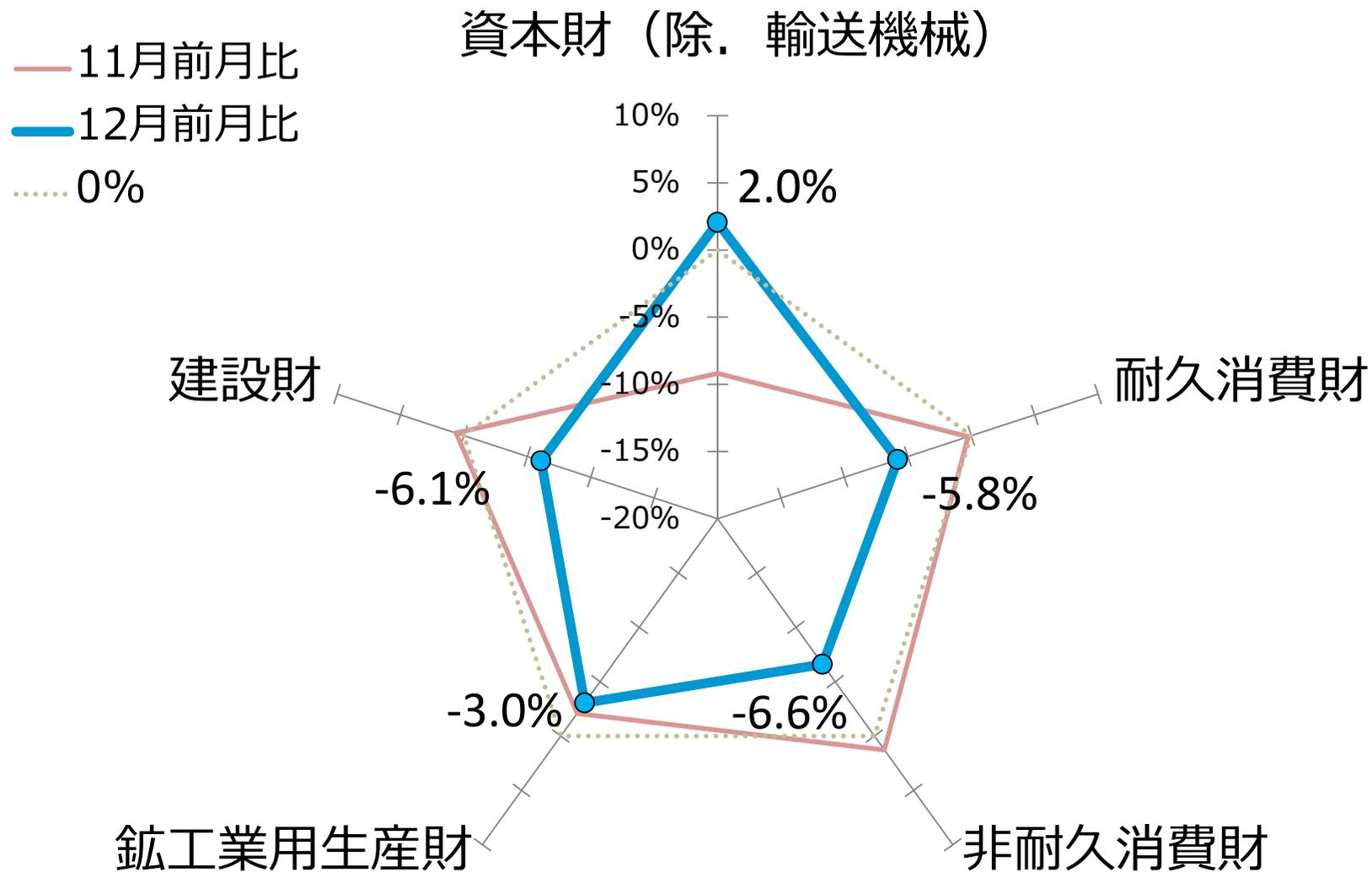
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



2019年12月の輸出向け出荷前月比 財別の影響度合い

財別分類	前月比(%)	寄与度
鉱工業	-0.4	—
鉱工業用生産財	-3.0	-1.63
耐久消費財	-5.8	-0.68
その他用生産財	-12.0	-0.29
非耐久消費財	-6.6	-0.22
建設財	-6.1	-0.11
資本財(除. 輸送機械)	2.0	0.40

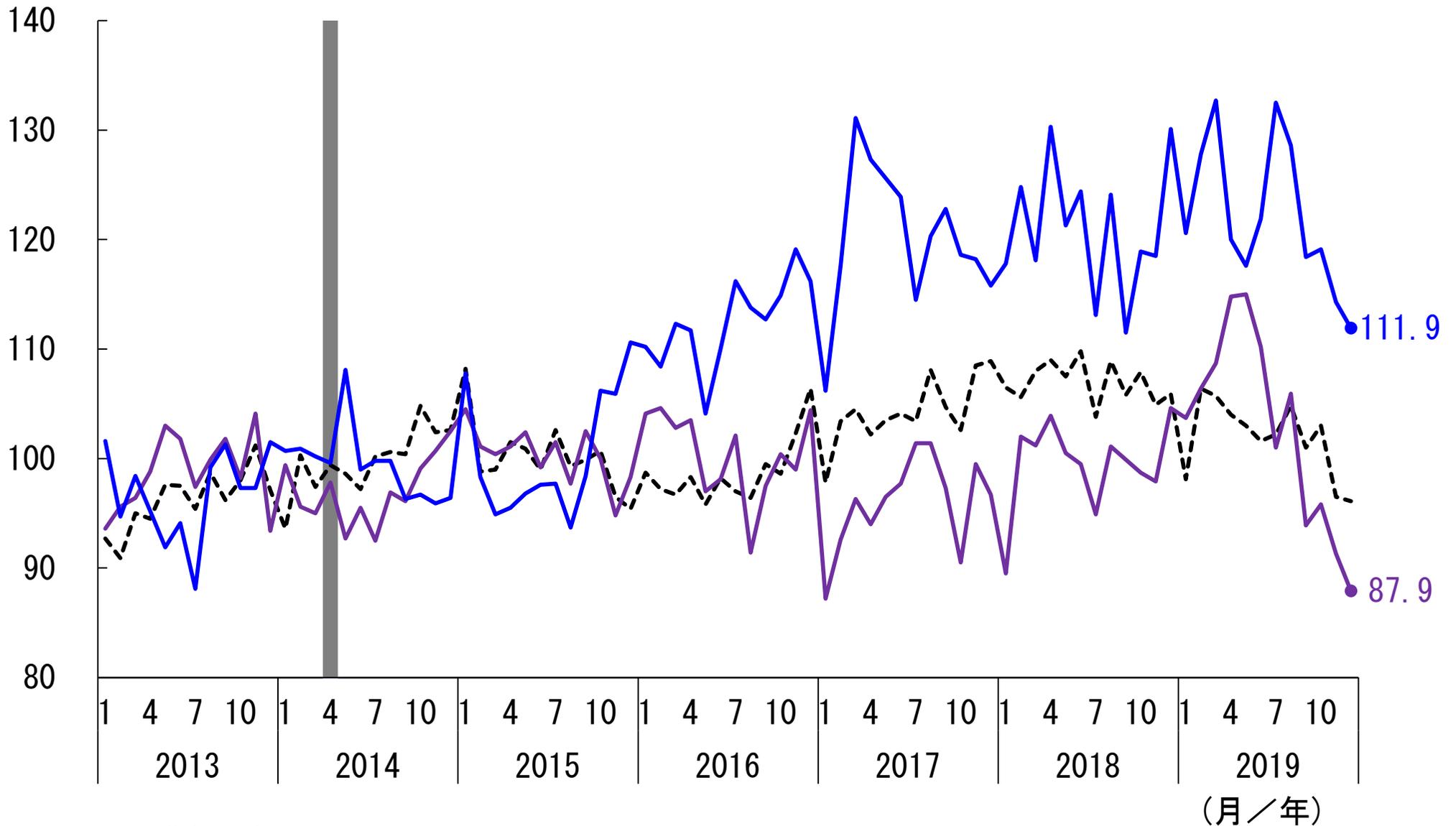
輸出向け財別出荷指数前月比の比較 (2019年11月、12月)



欧米向け出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済)

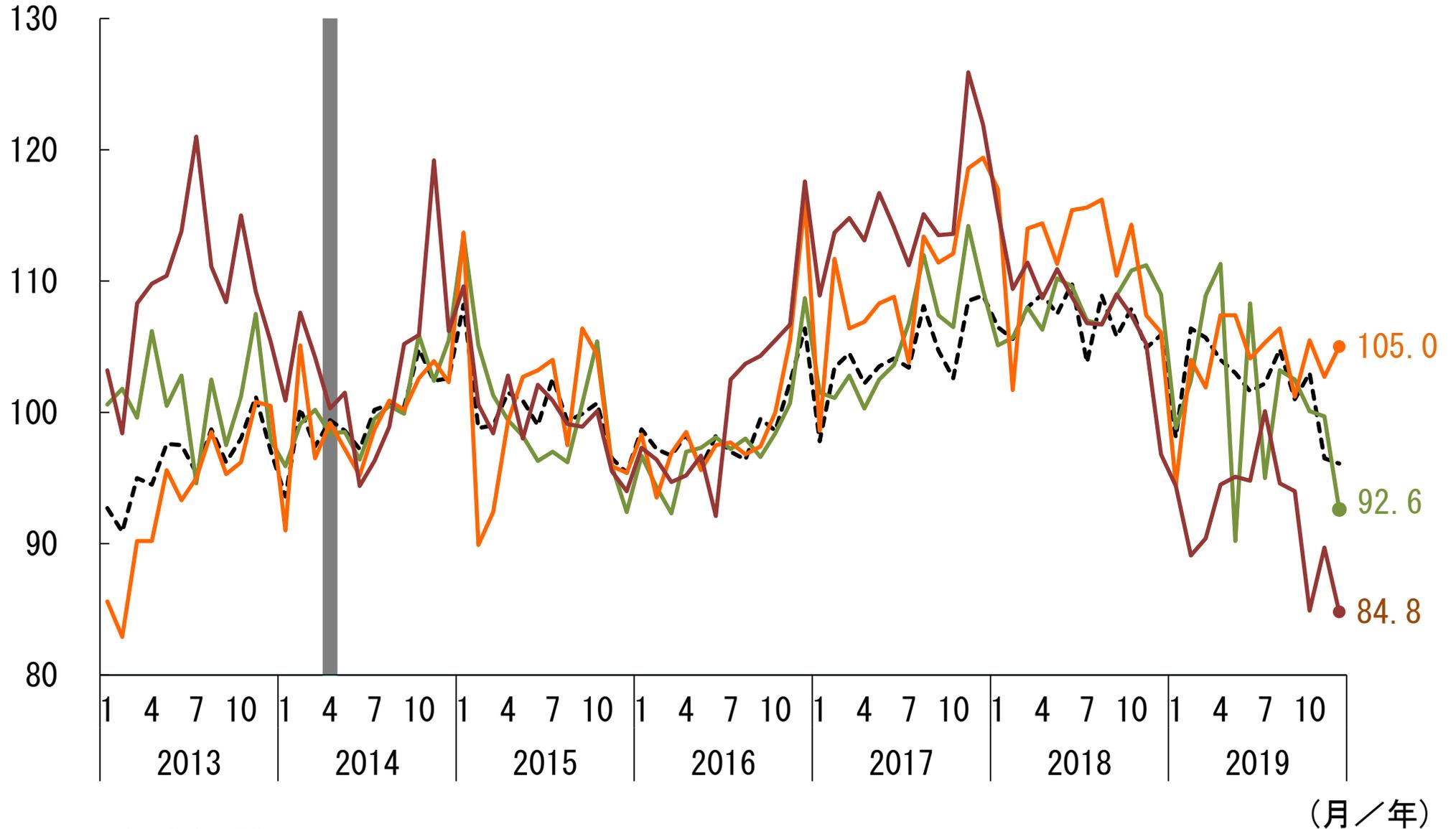
--- 輸出向け出荷 — 米国向け — 欧州向け



(注) 1. 貿易統計に基づく試算値
2. 灰色のシャドー部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

アジア向け出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済) --- 輸出向け出荷 — ASEAN向け — 中国向け — 韓国向け

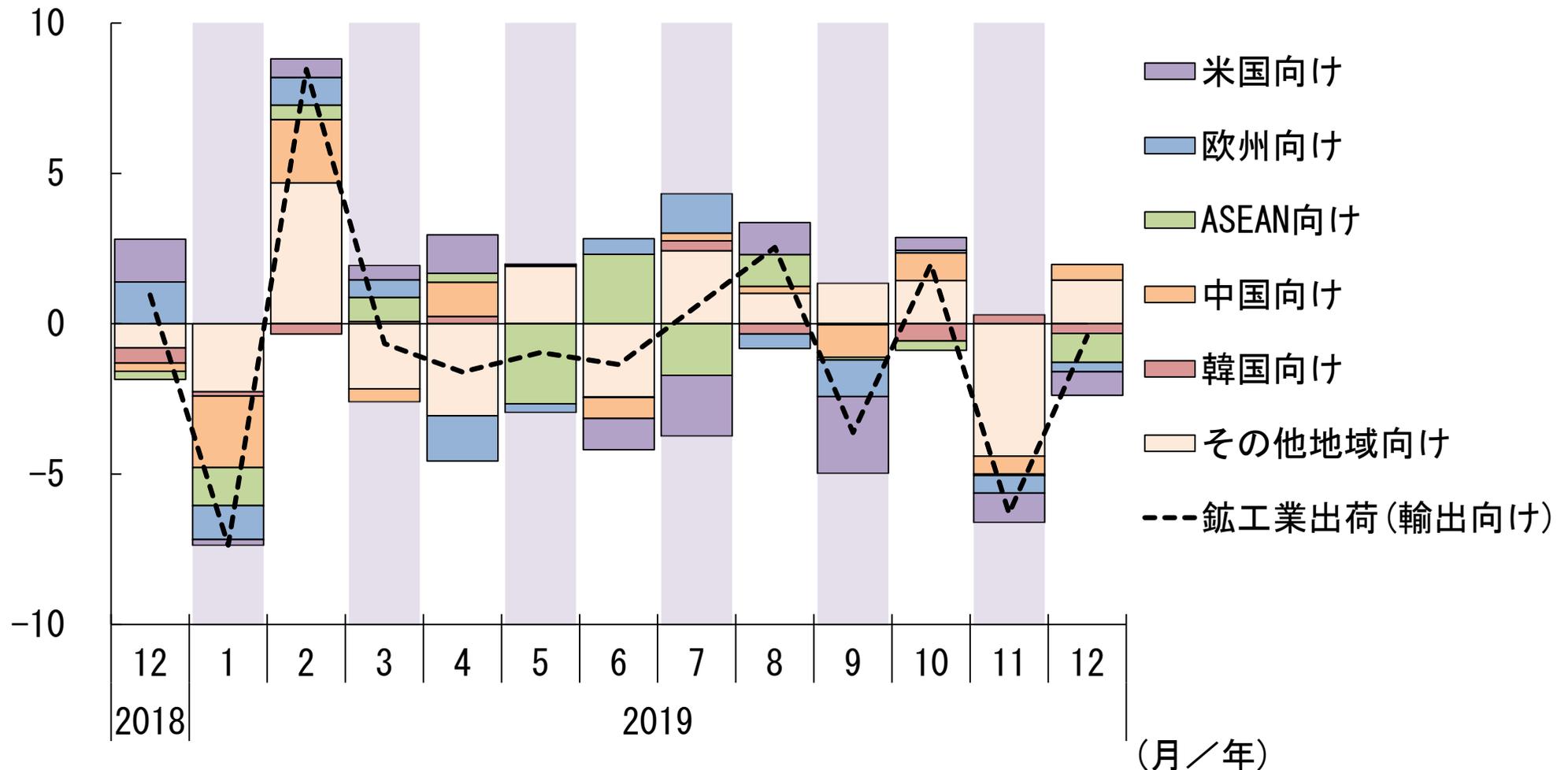


(注) 1. 貿易統計に基づく試算値
2. 灰色のシャドー部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

輸出向け出荷前月比 地域別の影響度合い

- 2019年12月の輸出向け出荷を、地域別にみると、その他地域向けなどが上昇したものの、ASEAN向けなどが低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



(注) 貿易統計に基づく試算値

主要業種、財の出荷前月比 米国／中国向け出荷の影響度合い

業種別分類	輸出向け出荷 前月比 (%)	米国向け 寄与度 (%ポイント)	中国向け 寄与度 (%ポイント)
鉄鋼・非鉄金属工業	-14.8	-22.73	-16.31
生産用機械工業	4.4	11.47	1.77
汎用・業務用機械工業	0.8	0.61	-4.75
電気・情報通信機械工業	-6.0	-10.30	-4.94
輸送機械工業	-1.1	-11.27	1.67
化学工業(除. 医薬品)	-0.6	-3.51	15.87

財別分類	輸出向け出荷 前月比 (%)	米国向け 寄与度 (%ポイント)	中国向け 寄与度 (%ポイント)
鉱工業用生産財	-3.0	-4.13	2.87
資本財(除. 輸送機械)	2.0	3.55	-1.19
建設財	-6.1	-10.22	-2.00
耐久消費財	-5.8	-24.37	5.82
非耐久消費財	-6.6	-25.95	-19.28

(注) 米国と中国以外の地域への輸出も相当量あることから、米国向け出荷と中国向け出荷の寄与度を合計しても輸出向け出荷の前月比になるわけではない。それぞれの寄与度は、各業種及び各財における輸出向け出荷全体に対する米国向け出荷と中国向け出荷の影響度合いの目安として示している。

2019年12月の鉱工業総供給表の状況

総供給・国産品供給・輸入品供給

月次	総供給	国産	輸入
季調済指数 前月比	97.6 1.2%	97.0 0.4%	99.0 4.4%
指数水準	2019.10 97.6以来 (超)2019.9 103.3以来 I 2014.3 108.3 II 2014.1 105.9 III 2017.12 105.0	2019.9 103.1以来 I 2014.3 107.8 II 2014.1 106.6 III 2017.12 104.8	2019.9 104.7以来 I 2014.3 110.2 II 2018.10 105.2 III 2014.1 105.0
前月比の動き	3か月ぶり+ (2019.9以来)	2か月連続+ (2019.11～当月)	3か月ぶり+ (2019.9以来)
前月比幅	2019.9 3.8%以来 I 2014.3 5.0% II 2019.9 3.8% III 2014.9, 2018.10 3.6%	2019.9 2.8%以来 I 2019.4 3.9% II 2014.3 3.6% III 2017.4 3.4%	2019.9 7.7%以来 I 2014.3 9.8% II 2019.9 7.7% III 2018.7 7.1%

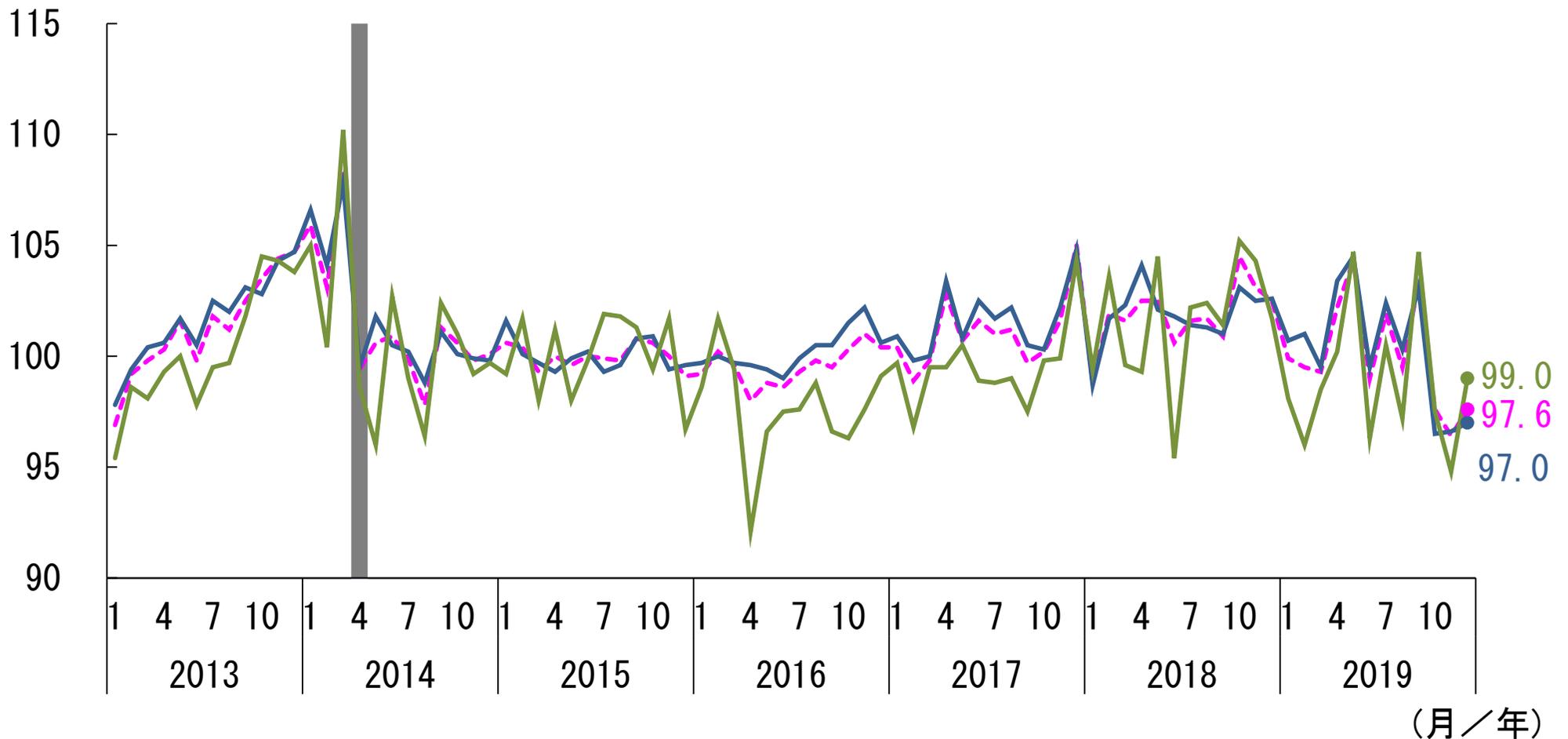
1) I～Ⅲは2015年基準における最大値から上位3位までの数値

鋳工業総供給指数の動向

- ・2019年12月の鋳工業総供給指数は97.6(前月比1.2%)と3か月ぶりの上昇。
- ・内訳をみると、国産は97.0(前月比0.4%)と2か月連続の上昇、輸入は99.0(前月比4.4%)と3か月ぶりの上昇。

(2015年=100、季節調整済)

--- 鋳工業総供給 — 国産 — 輸入



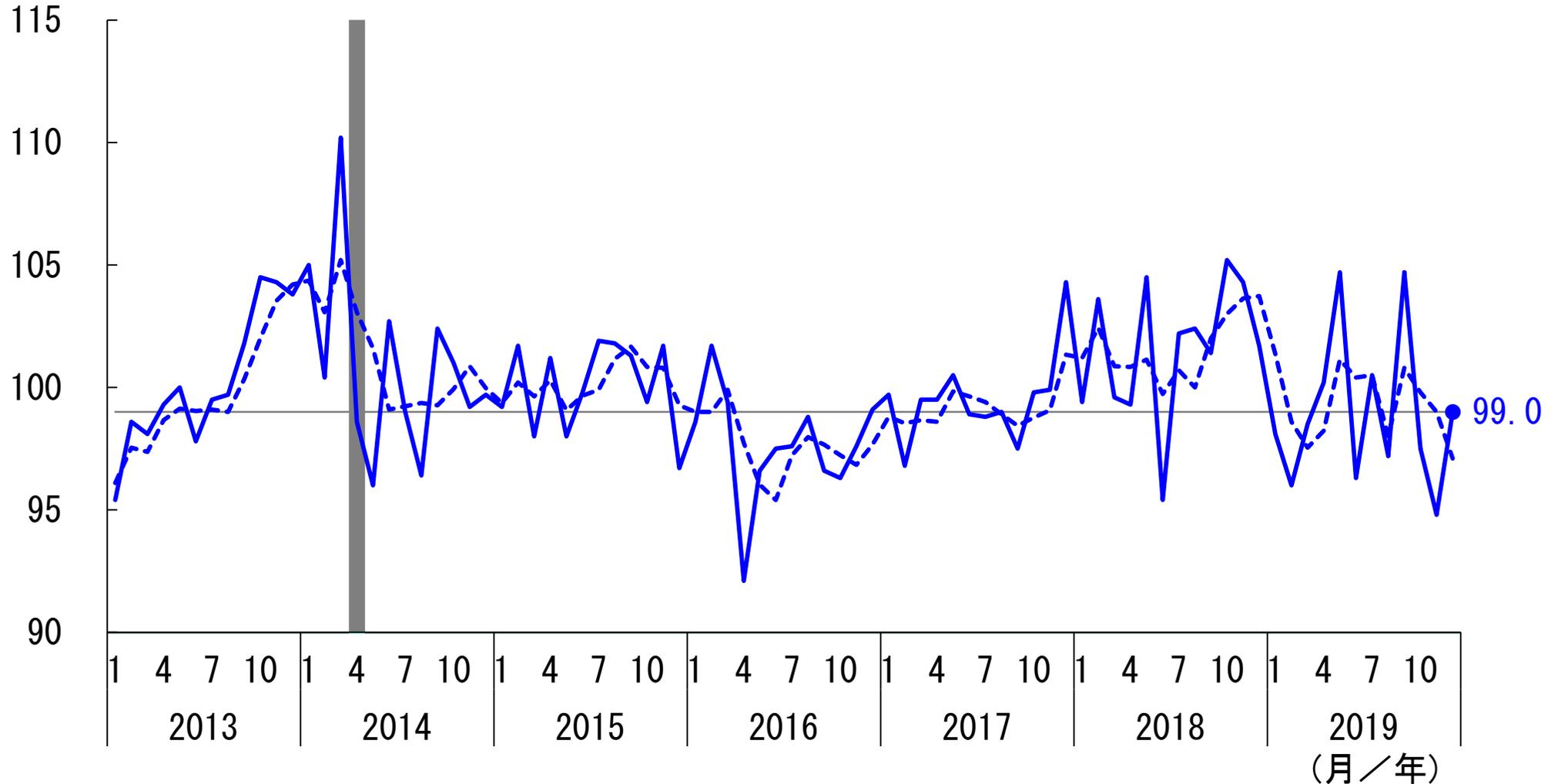
(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

輸入品供給指数の動向

・ 2019年12月の輸入品供給指数は99.0 (前月比4.4%) と3か月ぶりの上昇。

(2015年=100、季節調整済)

— 輸入品供給指数 - - - 3か月後方移動平均



(注) 灰色のシャドー部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

2019年10-12月期の鋳工業出荷内訳表の状況

出荷・国内向け出荷・輸出向け出荷

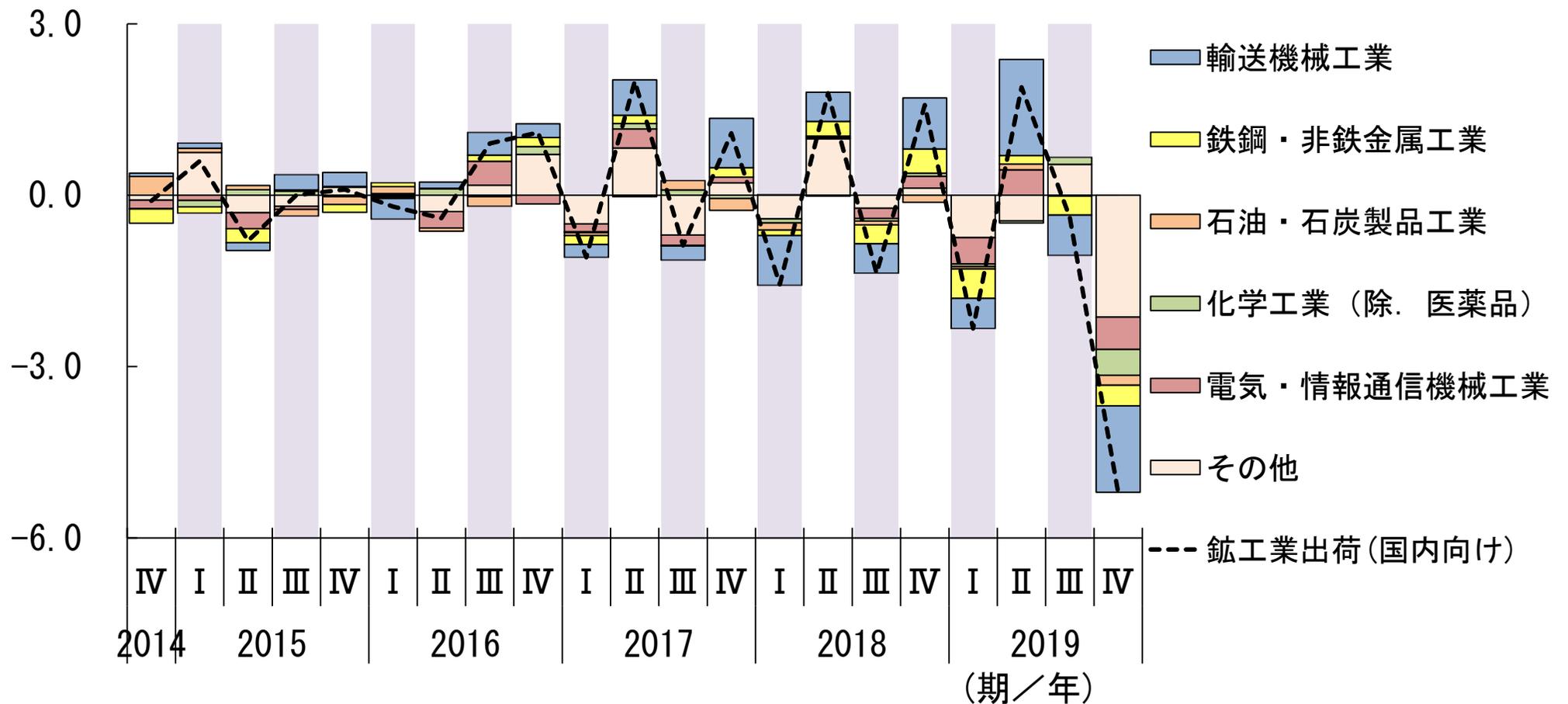
四半期	出 荷	輸 出	国 内
季調済指数 前期比	97.0 -5.0%	98.5 -4.1%	96.6 -5.2%
指数水準	2015年基準最低水準 ①2019Ⅳ 97.0 ②2013Ⅰ 98.0 ③2016Ⅱ 98.8	2016Ⅲ 97.6以来 ①2013Ⅰ 92.9 ②2013Ⅱ 96.5 ③2013Ⅲ 96.8	2015年基準最低水準 ①2019Ⅳ 96.6 ②2013Ⅰ 99.2 ③2016Ⅱ 99.3
前期比の動き	2期連続— (2019Ⅲ～当期)	4期連続— (2019Ⅰ～当期)	2期連続— (2019Ⅲ～当期)
前期比幅	2015年基準最低水準 ①2019Ⅳ -5.0% ②2014Ⅱ -4.1% ③2019Ⅰ -2.1%	2015年基準最低水準 ①2019Ⅳ -4.1% ②2015Ⅳ -3.1% ③2019Ⅰ -2.6%	2014Ⅱ -5.3%以来 ①2014Ⅱ -5.3% ②2019Ⅳ -5.2% ③2019Ⅰ -2.3%

1) ①～③は2015年基準における最小値から下位3位までの数値

国内向け出荷前期比 業種別の影響度合い

- 2019年10-12月期の国内向け出荷を、主要業種別にみると、輸送機械工業などが低下。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



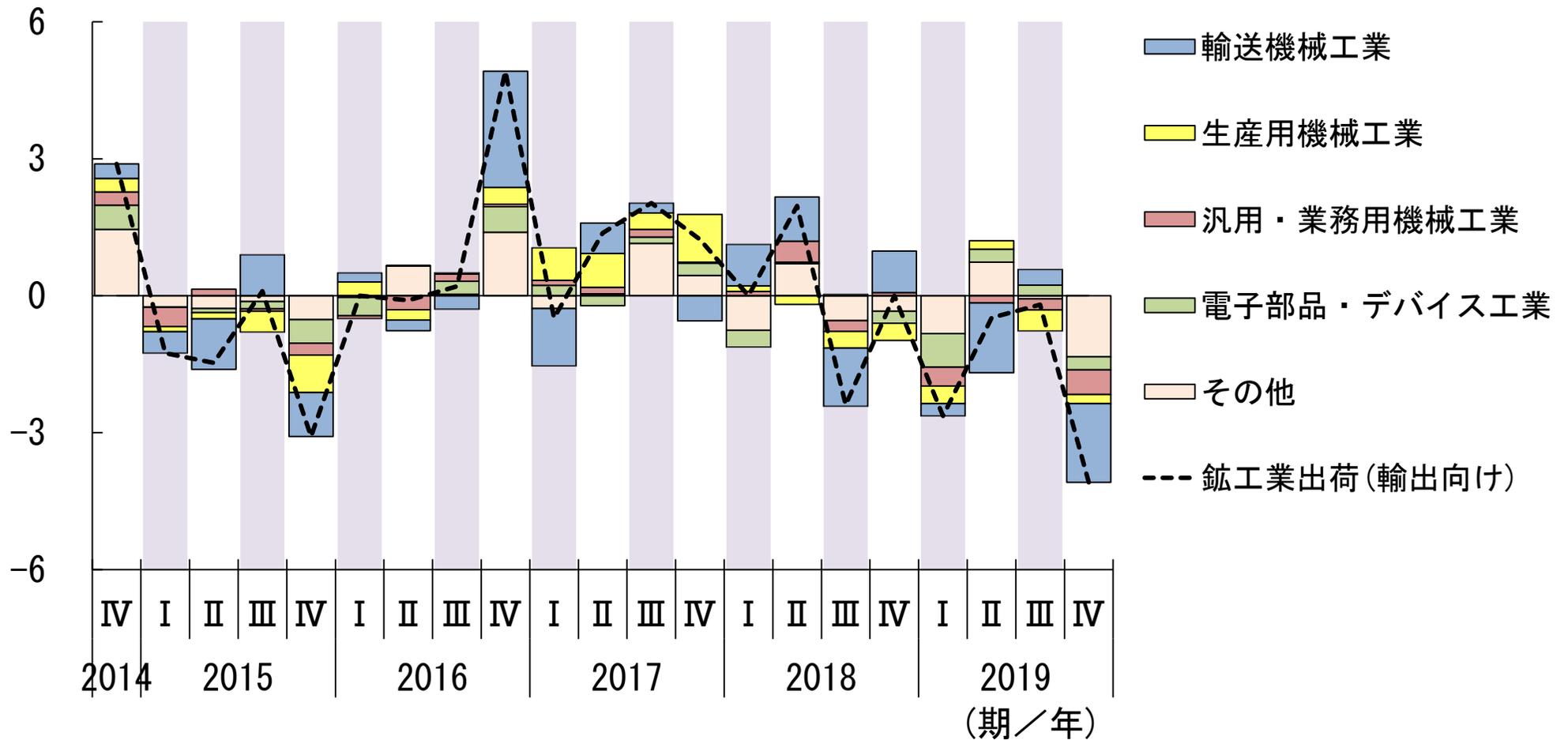
(注)主要業種とは、国内向け出荷(ウエイト7896.12)のうち、ウエイトが大きい5業種を選定。

具体的には、輸送機械工業(国内向け、ウエイト1193.18)、鉄鋼・非鉄金属工業(同、同786.21)、石油・石炭製品工業(同、同664.82)、化学工業(除. 医薬品)(同、同629.02)、電気・情報通信機械工業(同、同607.02)。

輸出向け出荷前期比 業種別の影響度合い

- 2019年10-12月期の輸出向け出荷を、主要業種別にみると、輸送機械工業などが低下。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



(注)主要業種とは、輸出向け出荷(ウエイト2103.88)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。
 具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト678.22)、生産用機械工業(同、同270.38)、汎用・業務用機械工業(同、同218.87)、電子部品・デバイス工業(同、同186.86)の4業種。

2019年の鋳工業出荷内訳表の状況

出荷・国内向け出荷・輸出向け出荷

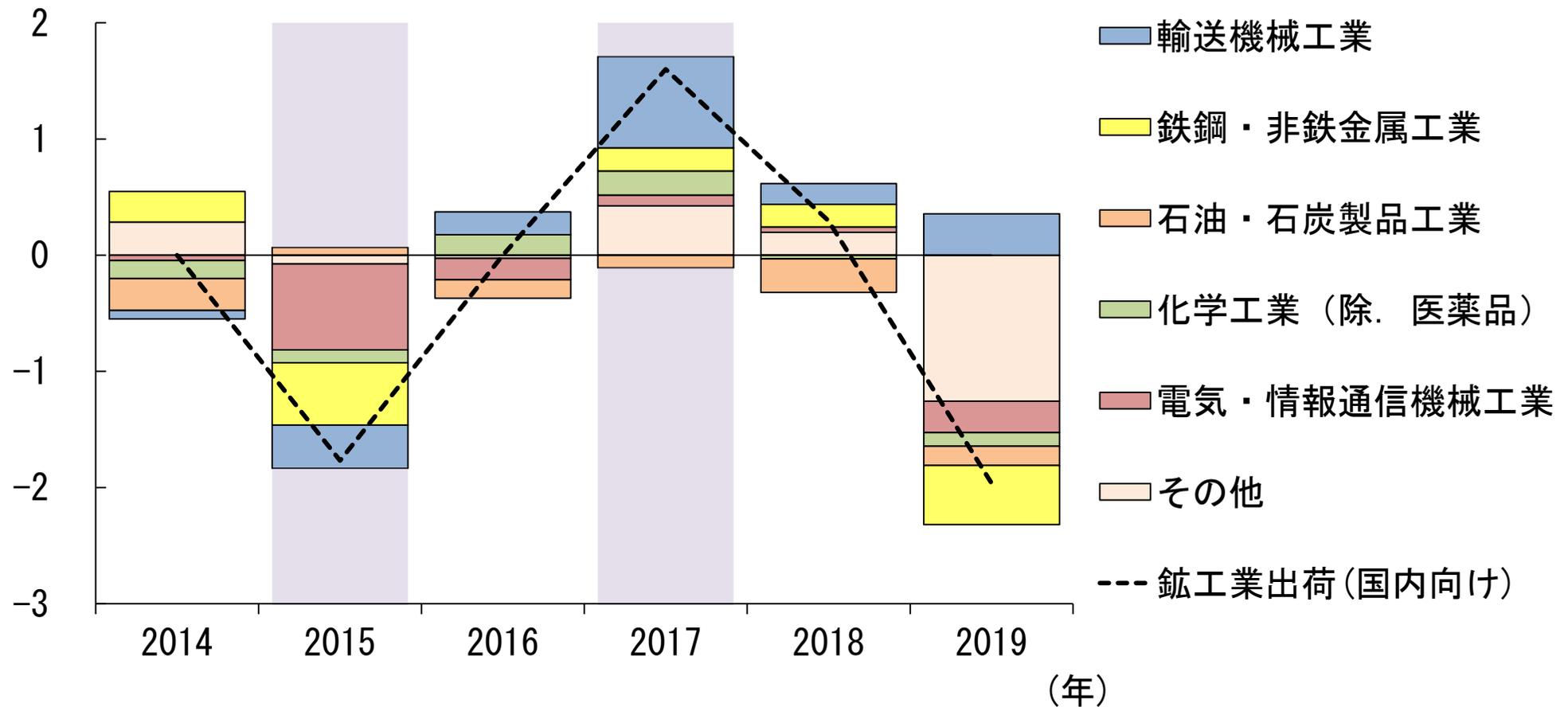
年次	出 荷	輸 出	国 内
原指数 前年比	100.2 -2.7%	101.3 -5.4%	99.9 -2.0%
指数水準	2016 99.7以来 ①2016 99.7 ②2015 100.0 ③2019 100.2	2016 98.5以来 ①2013 96.3 ②2016 98.5 ③2014 99.8	2015年基準最低水準 ①2019 99.9 ②2015, 2016 100.0 ③2017 101.6
前年比の動き	3年ぶりー (2016以来)	3年ぶりー (2016以来)	4年ぶりー (2015以来)
前年比幅	2015年基準最低水準 ①2019 -2.7% ②2015 -1.4% ③2016 -0.3%	2015年基準最低水準 ①2019 -5.4% ②2016 -1.5% ③ —	2015年基準最低水準 ①2019 -2.0% ②2015 -1.8% ③ —

1) ①～③は2015年基準における最小値から下位3位までの数値

国内向け出荷前年比 業種別の影響度合い

- 2019年の国内向け出荷を、主要業種別にみると、輸送機械工業が上昇したものの、鉄鋼・非鉄金属工業などが低下。

(前年比、%、%ポイント)

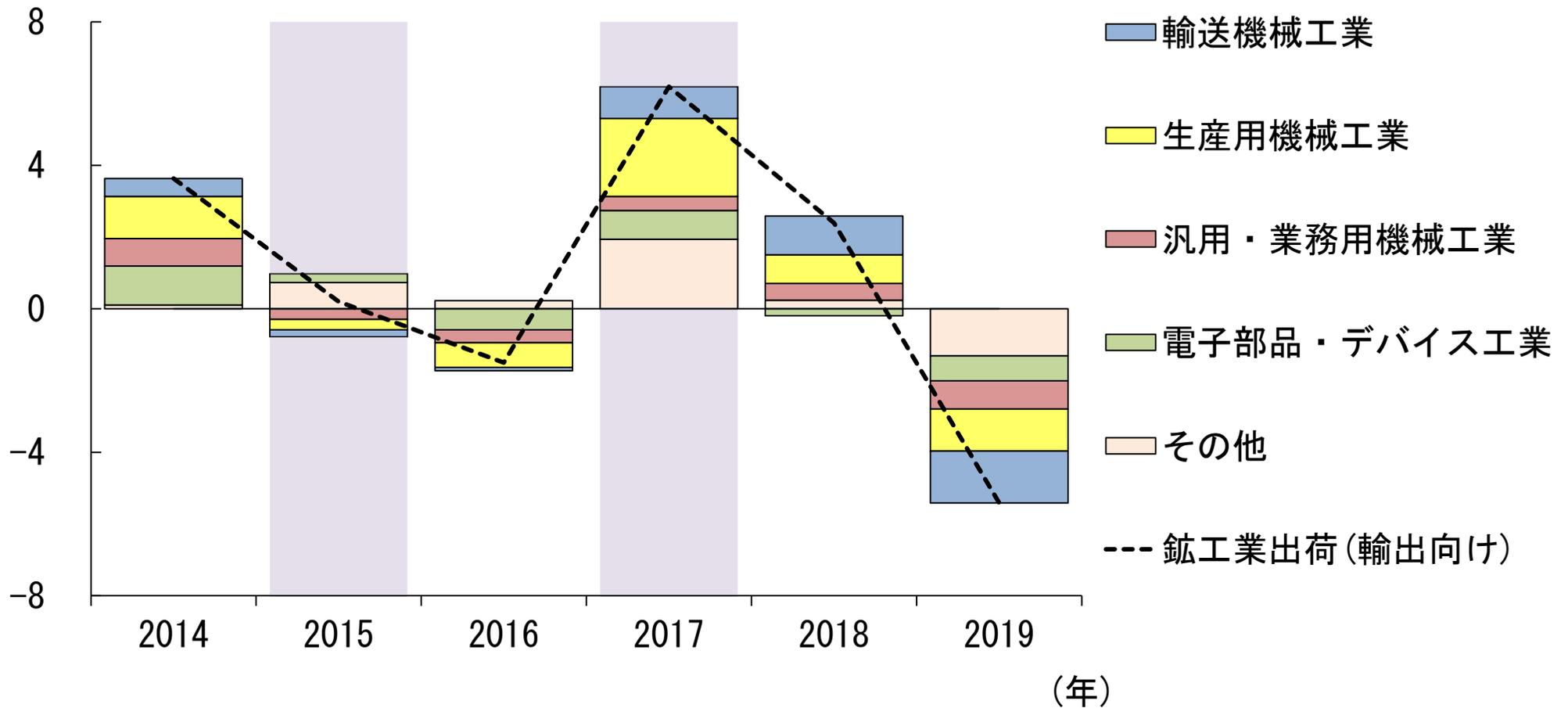


(注) 主要業種とは、国内向け出荷(ウエイト7896.12)のうち、ウエイトが大きい5業種を選定。
 具体的には、輸送機械工業(国内向け、ウエイト1193.18)、鉄鋼・非鉄金属工業(同、同786.21)、石油・石炭製品工業(同、同664.82)、化学工業(除. 医薬品)(同、同629.02)、電気・情報通信機械工業(同、同607.02)。

輸出向け出荷前年比 業種別の影響度合い

- 2019年の輸出向け出荷を、主要業種別にみると、輸送機械工業などが低下。

(前年比、%、%ポイント)



(注) 主要業種とは、輸出向け出荷(ウエイト2103.88)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。
 具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト678.22)、生産用機械工業(同、同270.38)、汎用・業務用機械工業(同、同218.87)、電子部品・デバイス工業(同、同186.86)の4業種。